

令和4年度 第2回岡山市総合教育会議

日 時：令和4年11月22日（火）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- ・岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けた取組状況等について
—「全国学力・学習状況調査」及び「児童生徒の問題行動・不登校等生徒
指導上の諸課題に関する調査」の結果を受けて—

3 閉 会

岡山市の現状

「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる子ども」に必要な力を育むための「基礎としての目標」に係る状況

令和4年11月22日
教育委員会

基礎としての目標の達成状況

- 全国学力・学習状況調査の偏差値50以上 → **達成**
- 全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比(岡山市/全国)を1以上 → **おおむね達成**
- 新規不登校児童生徒(小・中合計)の出現率0.47%以下 → **未達成**

現 状

- 学校での授業改善の取組が定着し、全国平均レベルの学力は維持している。
- 記述式問題の正答率は、小6・中3学年は、ほぼ全国平均レベルであるが、小2・3、中2学年では、国語、算数・数学ともに全国平均レベルを下回っている。

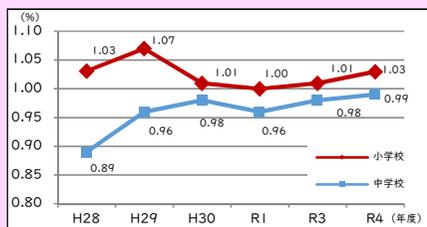
- 新規不登校児童生徒(小・中合計)の出現率は、増加している。
- 新たに不登校(欠席が30日以上)となった児童生徒の平均的な状態は、市平均と比べて全般的に満足度が低く、特に「友達との信頼関係の状態」「他者に自分の思いや考えを発信すること」が低い。

偏差値

教科	年度	H28	H29	H30	R1	R3	R4
		※令和2年度は調査なし					
小学校	国語A	49	50	50	51	50	51
	国語B	50	51	50	50	50	51
	算数A	50	50	49	50	50	50
	算数B	50	50	50	50	50	50
中学校	国語A	48	49	50	50	50	50
	国語B	48	49	49	50	50	50
	数学A	49	49	49	50	50	50
	数学B	48	49	49	50	50	50

資料:全国学力・学習状況調査(文部科学省)

記述式問題の正答率
(国語と算数・数学の平均)の対全国比



資料:全国学力・学習状況調査(文部科学省)

無解答率の対全国比

教科	年度	H28	H29	H30	R1	R3	R4
		※令和2年度は調査なし					
小・国語		1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8
小・算数		1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9
中・国語		1.7	1.4	1.5	1.4	1.1	1.2
中・数学		1.3	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1

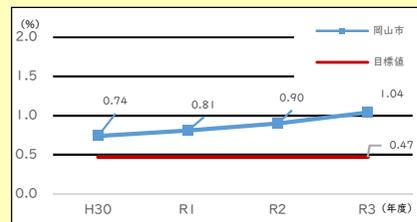
資料:全国学力・学習状況調査(文部科学省)

記述式問題の正答率(全国平均との差)

学年 教科	小2	小3	小4	小5	中1	中2
	国語	△2.1	△3.8	△4.5	△2.8	2.1
算数 数学	△5.6	△0.9	1.6	2.6	0.2	△1.2

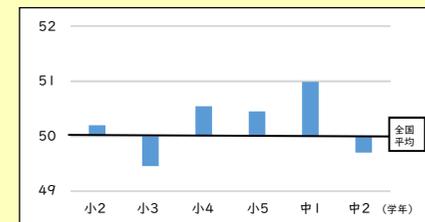
資料:令和4年度岡山っ子アセス(標準学力調査)

新規不登校児童生徒の出現率



資料:児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

児童生徒のいじめのサインや
対人ストレスに係る満足度



資料:令和4年度総合質問紙調査 i-check

新規不登校児童(第2学年～第5学年)の学校生活等への満足度(偏差値)

教科	自己認識									社会性				学級環境			生活・学習習慣		
	家族のささえ	友だちのささえ	先生のささえ	成功体験と自信	充実感と向上心	感動体験	他者からの評価	規範意識	(人間関係構築力) 思いやり	発信力	対話・話し合い	学級の規範意識	学級の絆	いじめのサイン	対人ストレス	生活習慣	学習習慣	学習意欲	
市平均	50.8	50.8	51.2	50.7	50.4	50.4	50.8	51.5	51.0	51.5	49.0	53.0	50.3	50.2	50.2	50.8	49.0	50.5	
新規不登校児童	47.9	46.7	48.0	47.3	47.6	48.5	47.5	49.2	48.8	47.5	44.3	51.1	48.3	48.1	47.6	47.4	47.0	47.8	

※今年度30日以上欠席している児童を抽出して集計し、市平均と比較したものである。

資料:令和4年度総合質問紙調査 i-check

※数値は偏差値であり、全国平均を50とする。

※ 小学校には義務教育学校(前期課程)を、中学校には義務教育学校(後期課程)を含めています。

目指す子どもに向けて、さらに充実すること

令和4年11月22日
教育委員会

「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すことができる」子どもを目指す

個性を磨く	選択	挑戦
自分の良さや可能性をさらに高めようと努力する。	人生の岐路や生活などのあらゆる場面で、他者の考えや様々な情報をもとに、その時点で自分にとって最適な判断をする。	困難な状況にあっても、解決や前進のために粘り強く取り組む。

基礎としての目標の達成状況から

- 〔課題〕
- ▶ 第1期教育大綱を通して、考える力は身に付いたが、表現する力に課題が見られる。
 - ▶ 記述式問題の無解答率は、特に中学校で年々減少しているが、全国平均レベルには達していない。
 <考えられる理由>
 - ・基礎的な知識を活用する学習が少ない。
 - ・長いリード文から、必要な情報を読み取る力に課題が見られる。

〔目標〕 コミュニケーションを基盤とした読解力の育成

<令和5～7年度 重点>

〔指標〕 記述式問題の正答率の対全国比を1以上にする。(無解答率の改善に資する。)
 <令和7年度調査>

- 〔取組〕
- ▶ すべての学校で、授業の振り返りを書くことを徹底する。
 - ▶ すべての学校で、読解力を高める取組を徹底する。

令和4年度第2回岡山市総合教育会議 調査・分析ご報告資料

～令和4年度全国学力・学習状況調査より～

令和4年11月22日
株式会社ベネッセコーポレーション

教科調査

○「記述式問題」の平均正答率の対全国比

年度	R4
小学校・国語	1.06
小学校・算数	1.02
小学校・理科	1.02
中学校・国語	1.00
中学校・数学	0.97
中学校・理科	0.99

※公立の小学校、中学校(いずれも義務教育学校を含む)のデータに基づいて集計。以下同じ。

○自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比(岡山市の正答率/全国の正答率)を1以上にする。

・育む力を測る指標の「記述式問題の正答率 対全国比 1以上」について、小学校国語・算数・理科、中学校国語は達成。中学校数学・理科は、概ね達成。

○「記述式問題」の無解答率の対全国比

年度	H28	H29	H30	R1	R3	R4
小学校・国語	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8
小学校・算数	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9	0.9
小学校・理科	—	0.8	—	—	—	0.8
中学校・国語	1.7	1.4	1.5	1.4	1.1	1.2
中学校・数学	1.3	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1
中学校・理科	—	1.1	—	—	—	1.0

・小学校は対全国比で改善。中学校は理科は改善。国語、数学は課題。

教科	区分		H30	H31	R3	R4
国語	全体		問題がA・Bに分かれていたため割愛	1.2	0.3	1.4
	学習指導要領上の内容	話すこと・聞くこと		-0.4	0.8	1.5
		書くこと		2.7	-1.5	-0.5
		読むこと		0.5	1.1	0.9
	問題形式	選択式		1.1	0.1	0.0
		短答式		1.6	2.9	4.2
		記述式		0.2	0.5	2.9
算数	全体		-0.6	-0.2	-1.2	
	学習指導要領の領域	数と計算	-1.1	0.0	-0.9	
		図形	0.1	1.0	-0.5	
	問題形式	選択式	-0.6	-0.7	-1.1	
		短答式	-1.2	0.3	-1.5	
		記述式	0.3	0.5	0.9	
理科	全体		0.7			0.7
	学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	0.6			1.4
		「粒子」を柱とする領域	-1.2			-0.4
		「生命」を柱とする領域	1.7			2.0
		「地球」を柱とする領域	1.4			1.2
	問題形式	選択式	0.2			1.1
		短答式	2.8			0.1
記述式		2.4			1.0	

※先頭年度と最終年度との差が1%以上に青いアミ、-1%以下に赤いアミ
 ※理科は設問構成が変化しているため参考まで

国語が全体的に向上。数学は様々上下があるが、「記述式」は着実に向上。

教科	区分		H30	H31	R3	R4
国語	全体		問題がA・Bに分かれていたため割愛	-0.8	0.4	-1.0
	学習指導要領の内容	話すこと・聞くこと		-1.3	-1.2	-1.3
		書くこと		-1.3	-0.2	2.3
		読むこと		-1.6	0.6	-1.5
	問題形式	選択式		-0.8	0.8	-1.2
		短答式		1.0	1.2	-0.2
		記述式		-2.3	-1.3	-0.2
数学	全体			0.2	-0.2	-0.4
	学習指導要領の領域	数と式		-1.4	0.2	0.7
		図形		-0.6	0.3	-0.7
		関数	1.2	-0.8	-1.3	
		データの活用	1.3	0.1	-0.7	
	問題形式	選択式	-0.1	-0.8	-0.9	
		短答式	1.2	0.3	0.8	
		記述式	-2.1	-0.2	-1.0	
理科	全体		-0.1		-0.3	
	学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	-0.8		0.3	
		「粒子」を柱とする領域	-1		0.1	
		「生命」を柱とする領域	1.1		-0.2	
		「地球」を柱とする領域	-0.5		-0.3	
	問題形式	選択式	-0.5		0.2	
		短答式	2.9		-1.2	
記述式		-2.4		-0.4		

※先頭年度と最終年度との差が1%以上に青いアミ、-1%以下に赤いアミ

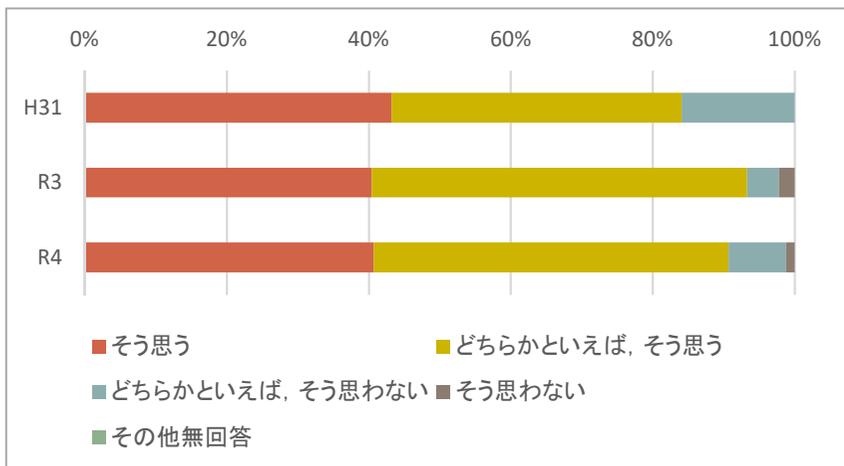
※理科は設問構成が変化しているため参考まで

国・数で「記述式」が向上。数は「数と式」が向上する一方、「関数」「データの活用」が低下。

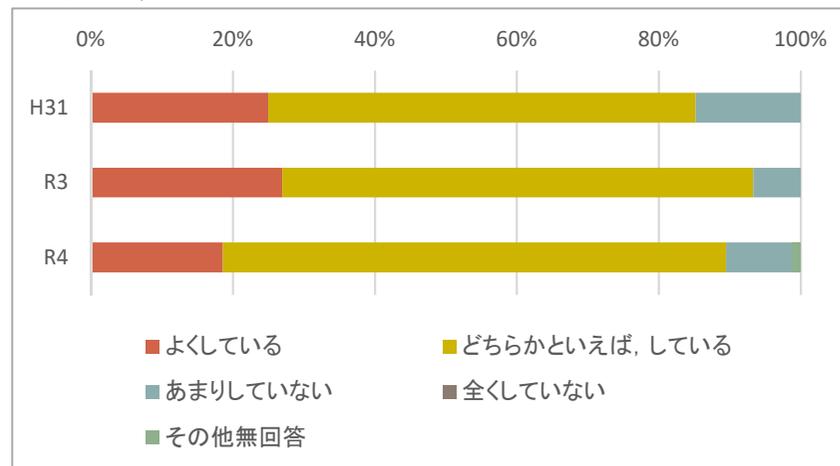
学校質問紙

(3か年、2か年同一質問結果推移)

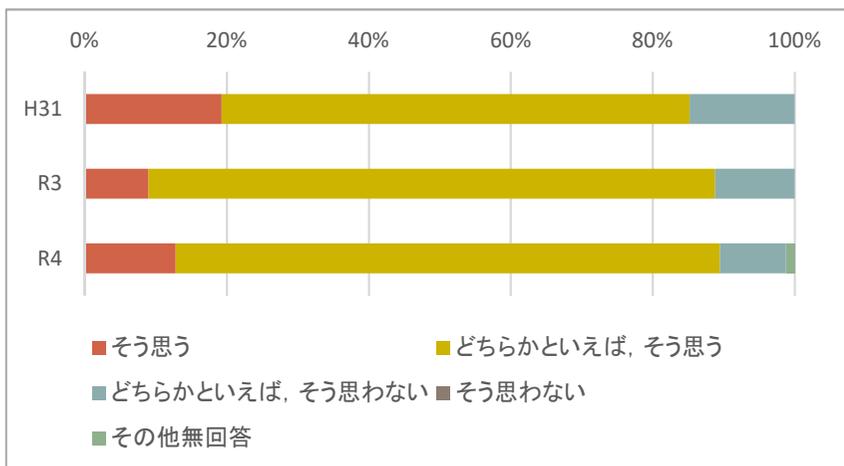
調査対象学年の児童は、授業中の私語が**少なく**、**落ち着いている**と思いますか



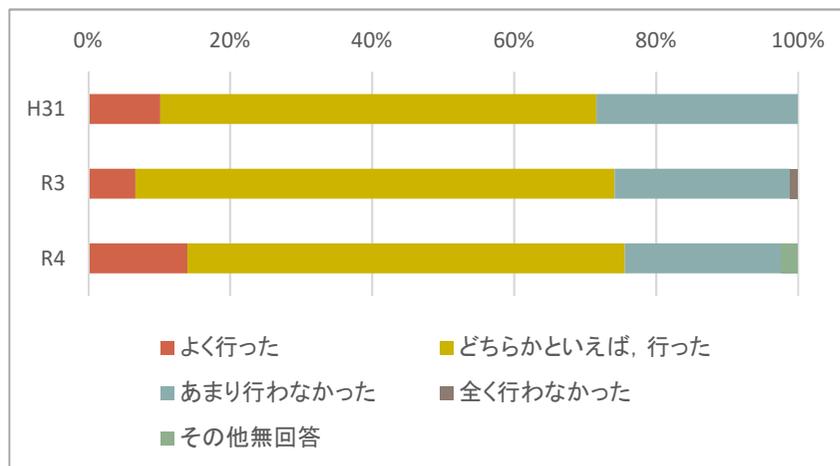
調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る**探究の過程を意識した指導**をしていますか



調査対象学年の児童は、授業では、**課題の解決**に向けて、**自分で考え、自分から取り組む**ことができていると思いますか

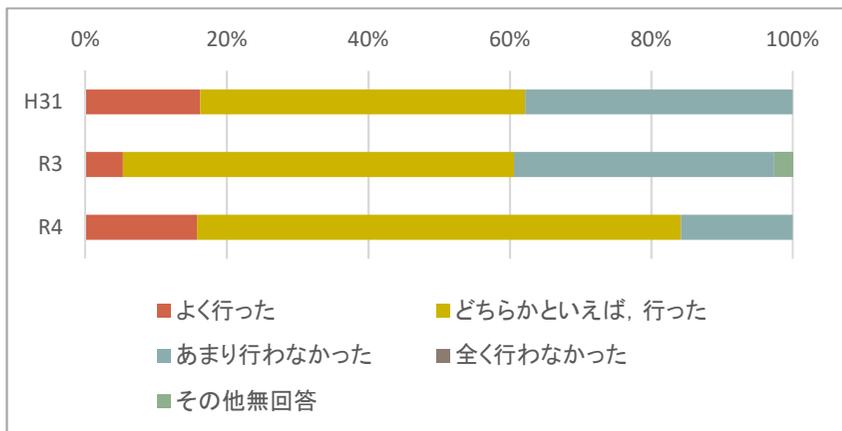


調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、**実生活における事象との関連**を図った授業を行いましたか

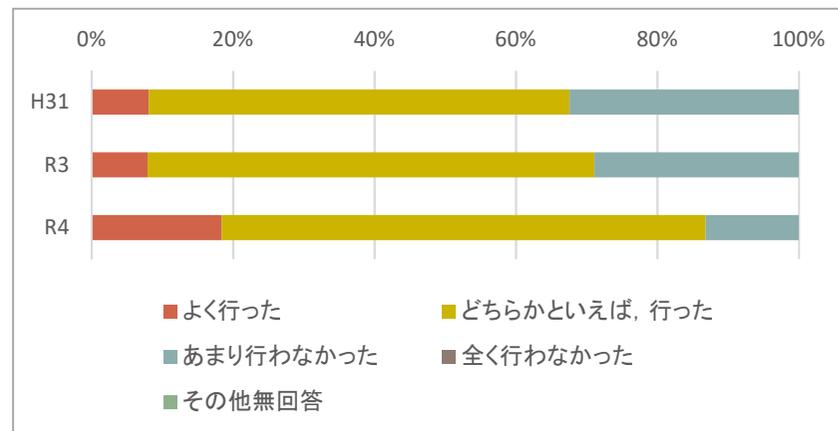


・新学習指導要領全面実施(R2年度)をはさみ、授業・学習指導の面はプラスに。

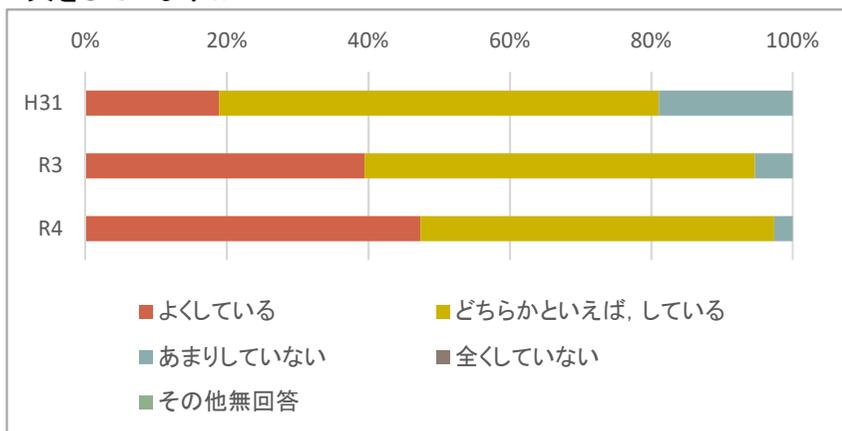
調査対象学年の生徒に対する**数学**の指導として、前年度までに、**実生活における事象との関連**を図った授業を行いましたか



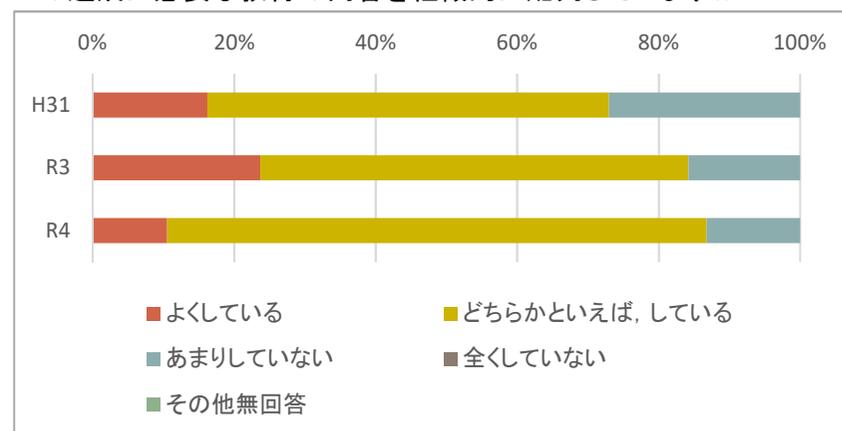
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、**各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす**ことができるような機会を設けましたか



調査対象学年の生徒に対して、特別の教科**道徳**において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

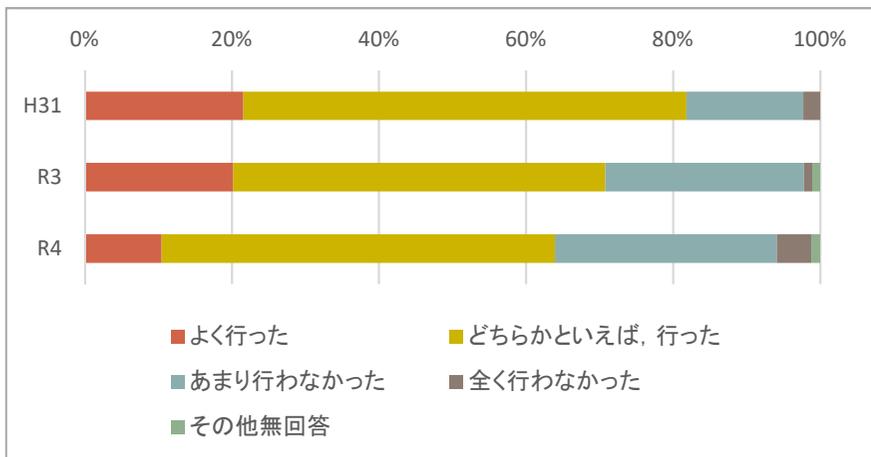


指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

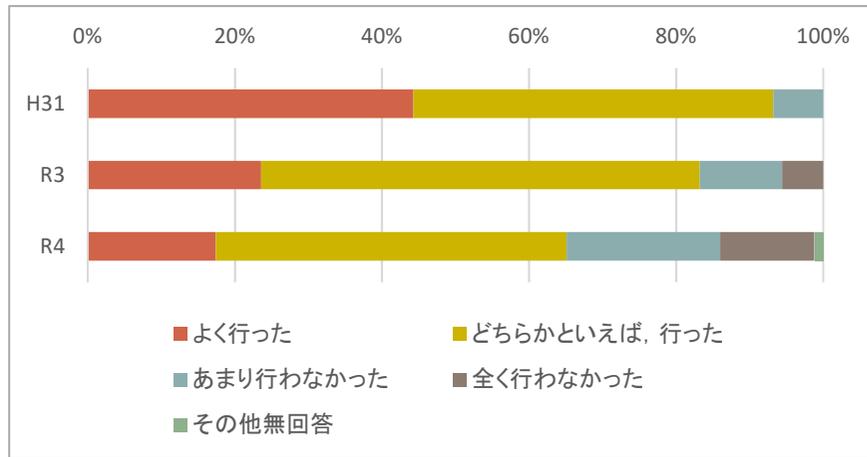


・新学習指導要領全面実施(R3年度)をはさみ、課題解決型の授業へ

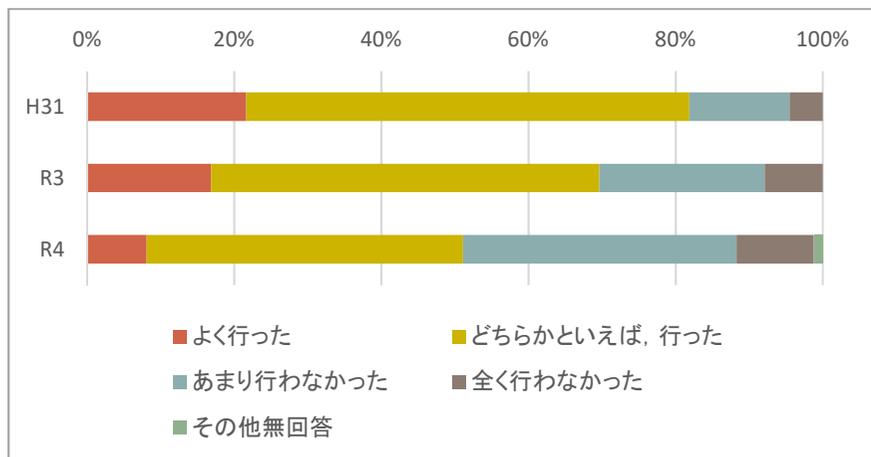
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(74)の質問にあるような、**保護者や地域の人との協働**による活動を行いましたか



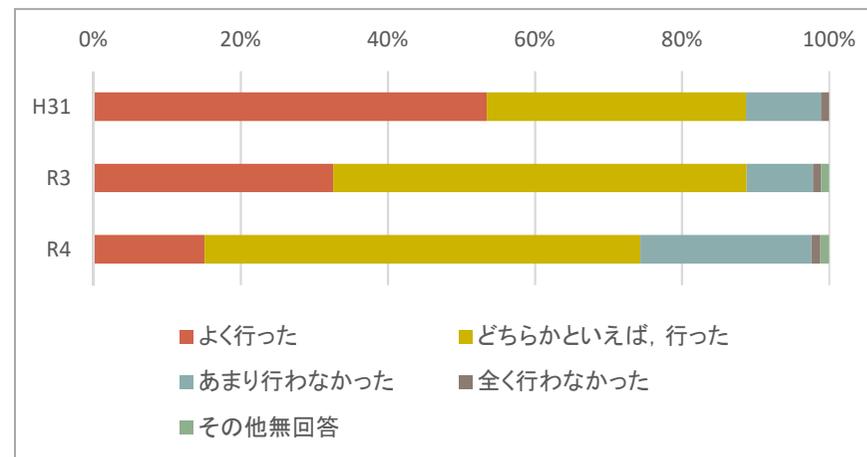
前年度までに、**近隣等の中学校**と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



前年度までに、**近隣等の中学校**と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか

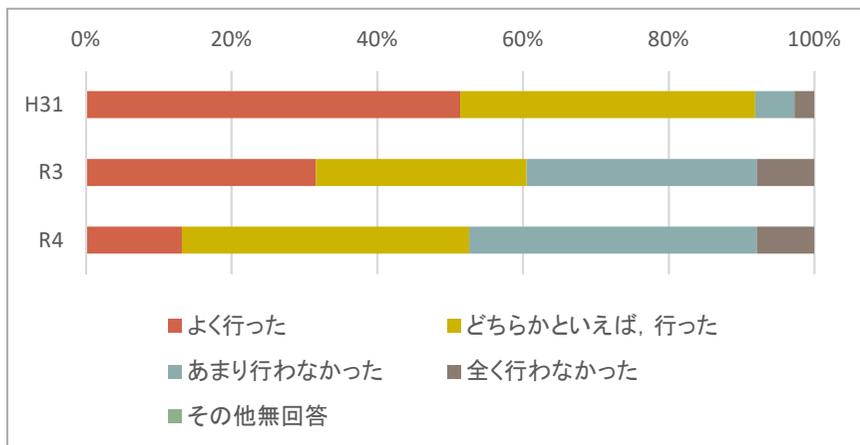


令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、**近隣等の中学校**と成果や課題を共有しましたか

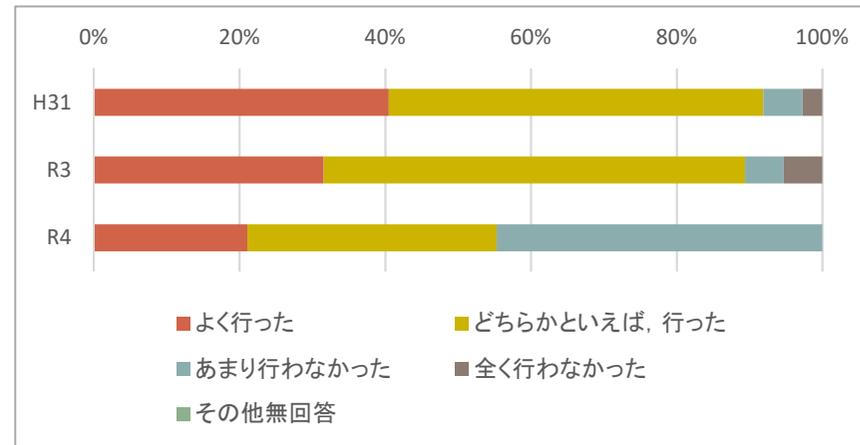


・小中連携、地域協働は元に戻っていない(協力を得られにくくなっている可能性あり)。

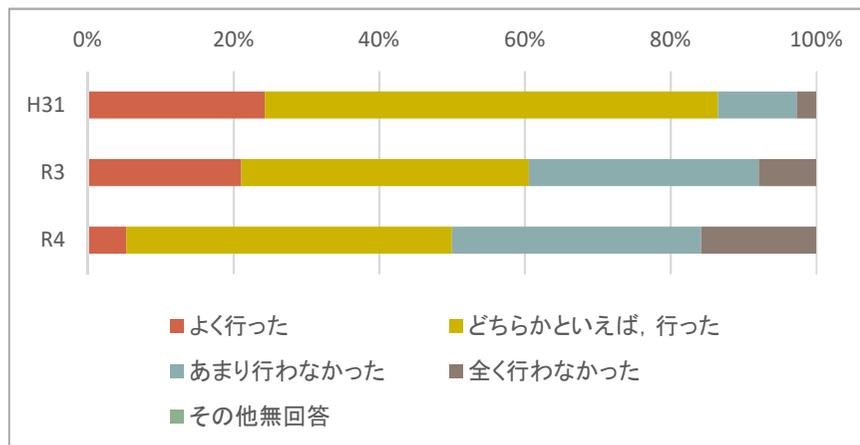
前年度までに、**近隣等の小学校**と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか



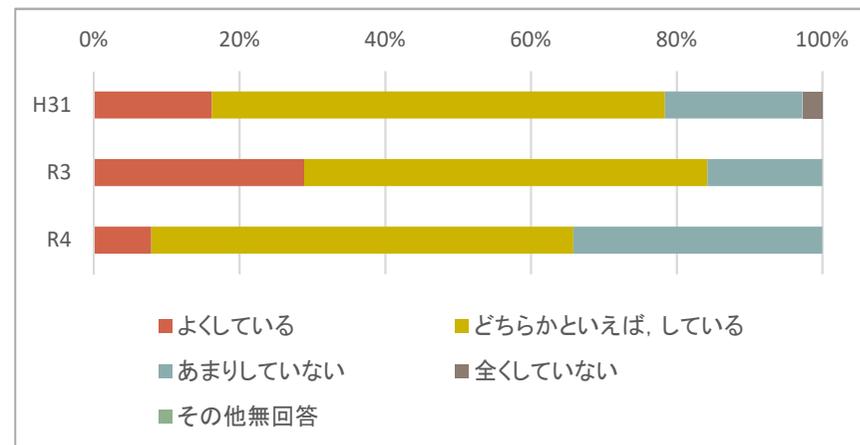
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(72)の質問にあるような、**保護者や地域の人との協働**による活動を行いましたか



令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、**近隣等の小学校**と成果や課題を共有しましたか

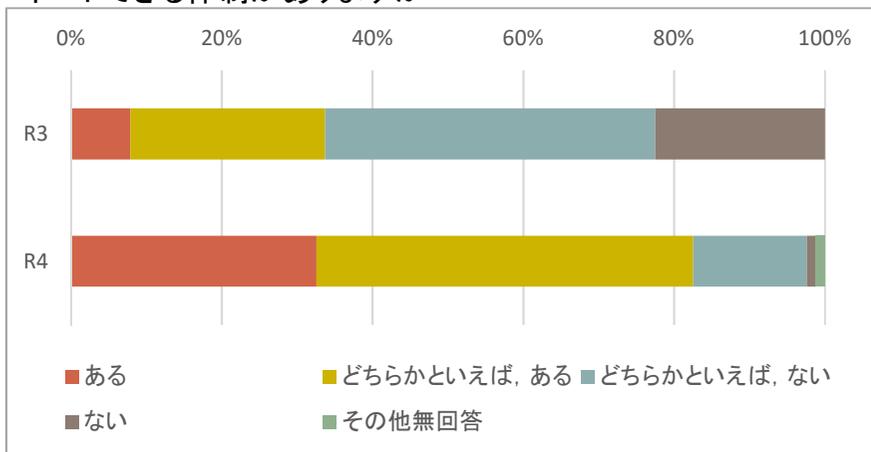


指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、**地域等の外部の資源**を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

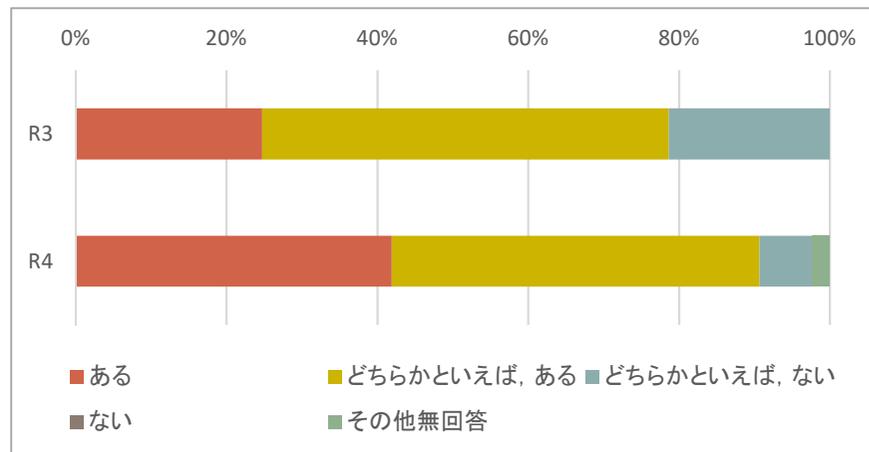


・小中連携、地域協働は元に戻っていない(協力を得られにくくなっている可能性あり)。

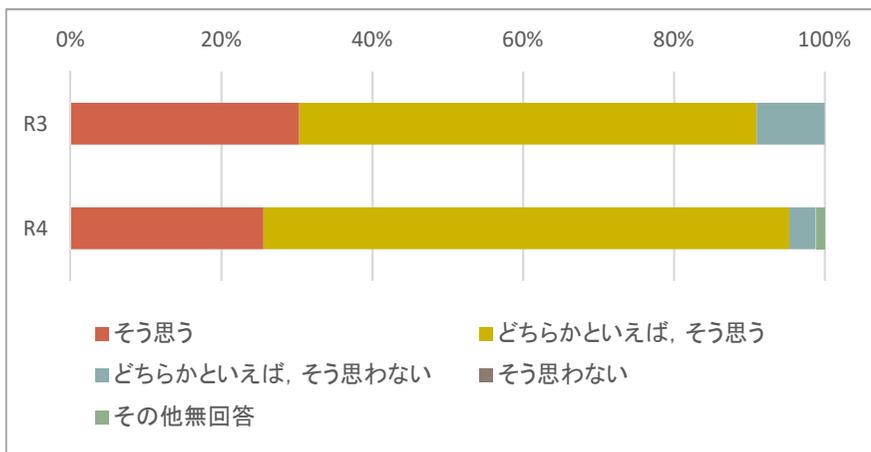
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった**専門スタッフ**(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか



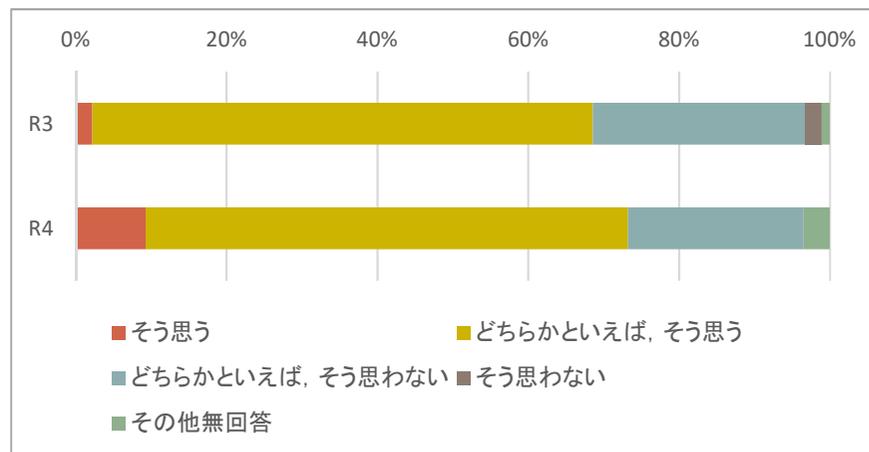
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な**研修機会**がありますか



調査対象学年の児童は、学級やグループでの**話し合い**などの活動で、相手の考えを**最後まで聞くことができている**と思いますか

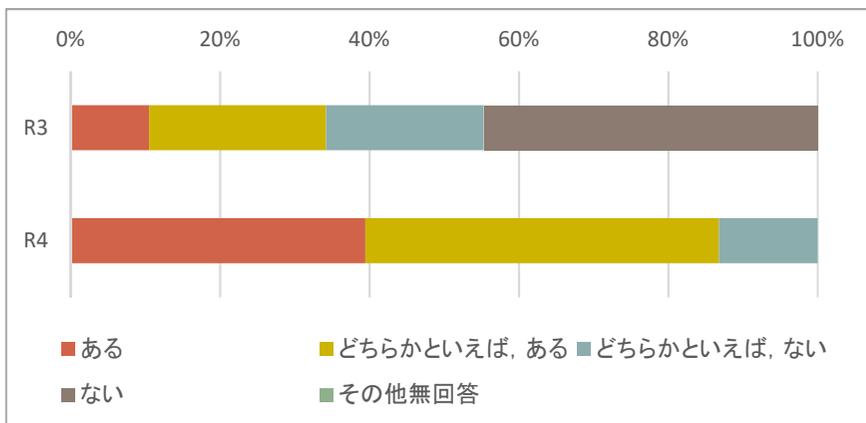


調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えが**うまく伝わる**よう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

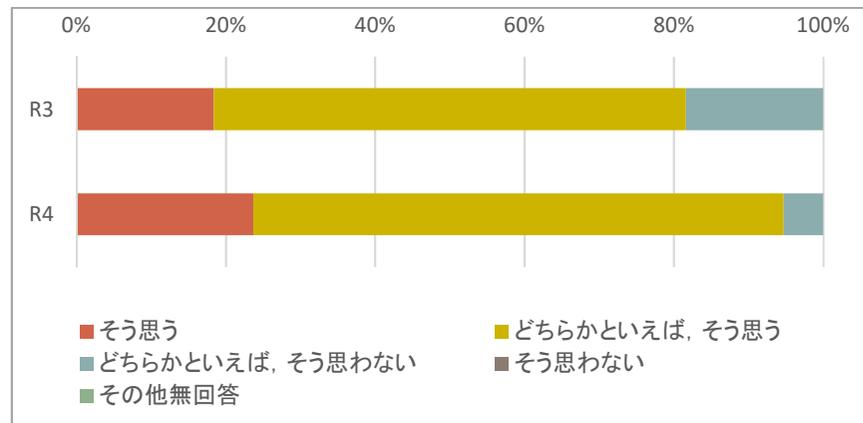


・ICTに関する環境整備が進み、「聞く」「伝える」活動が充実した。

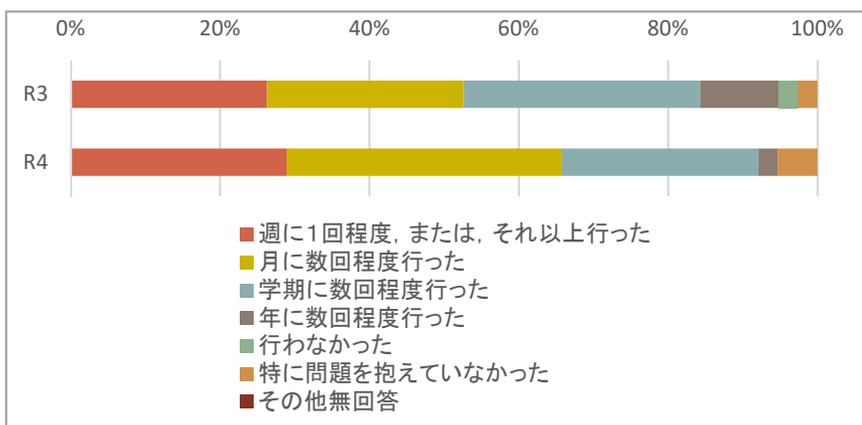
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校に十分な知識をもった**専門スタッフ**(教員は除く)がいるなど技術的にサポートできる体制がありますか



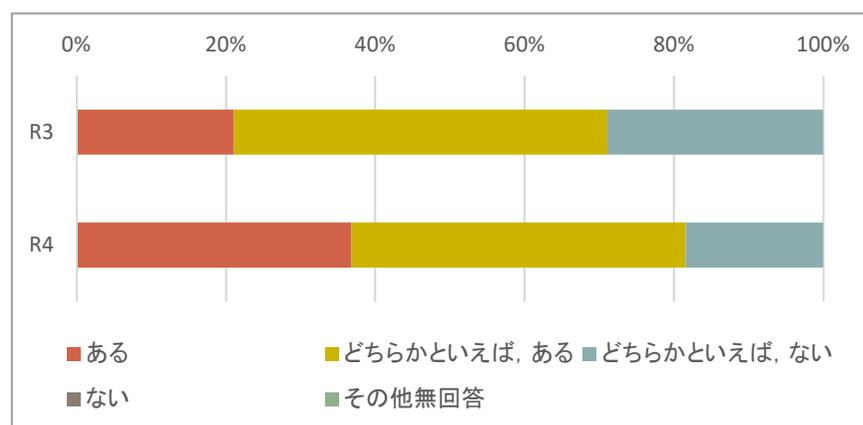
調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の**考えを相手にしっかりと伝える**ことができていると思いますか



前年度に、**教員が学級の問題を抱えている**場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

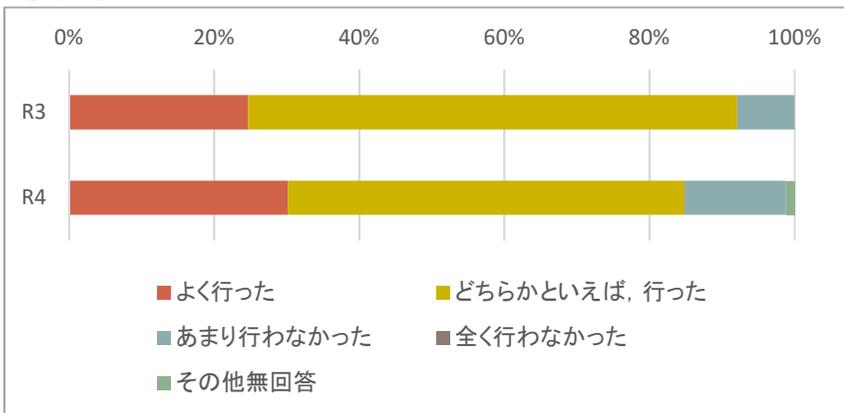


教員がコンピュータなどの**ICT機器**の使い方を学ぶために必要な**研修機会**がありますか

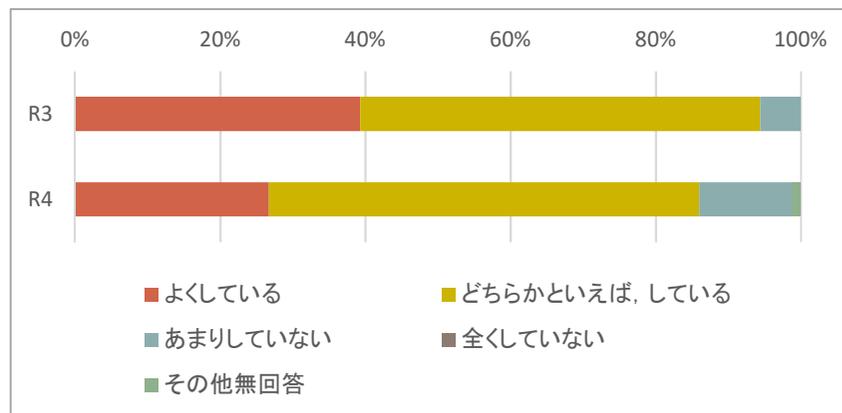


・ICTに関する環境整備が進んでいる一方、教員のサポートも重要に。

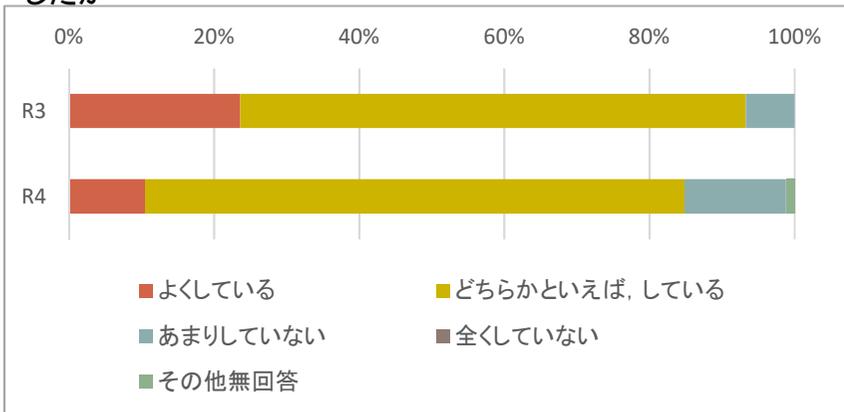
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



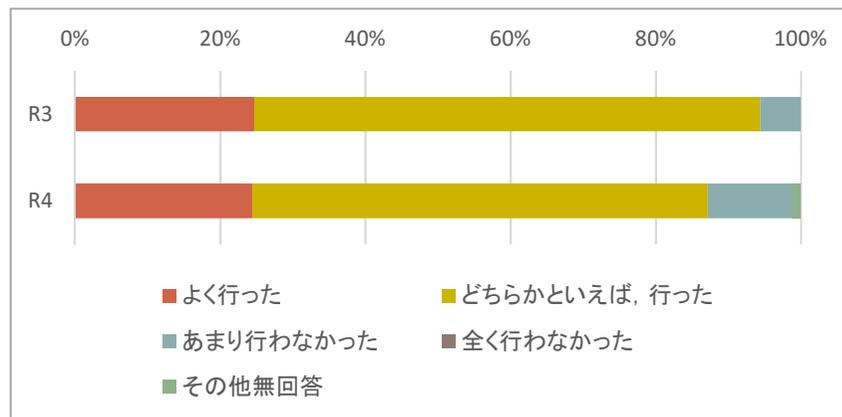
調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか

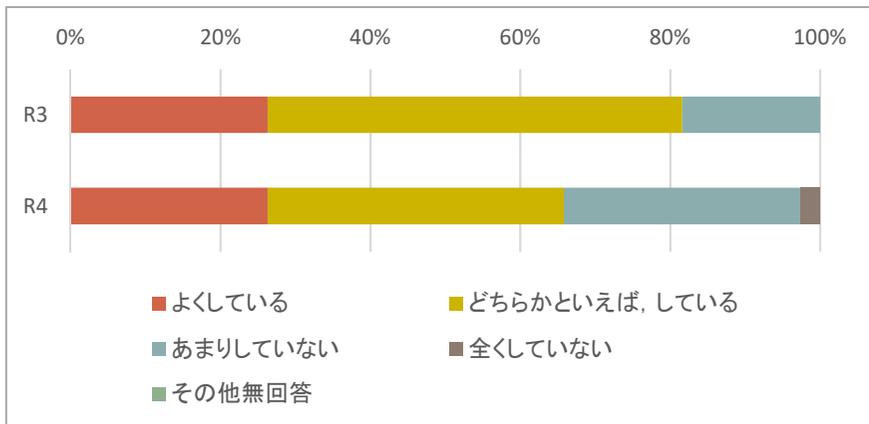


教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか

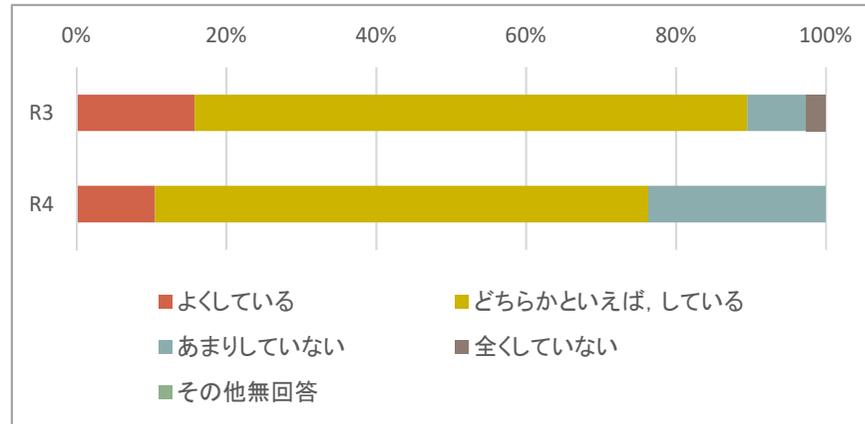


・前頁の「聞く」「伝える」から踏み込んだ「まとめ」「合意形成」及び家庭連携が次の課題

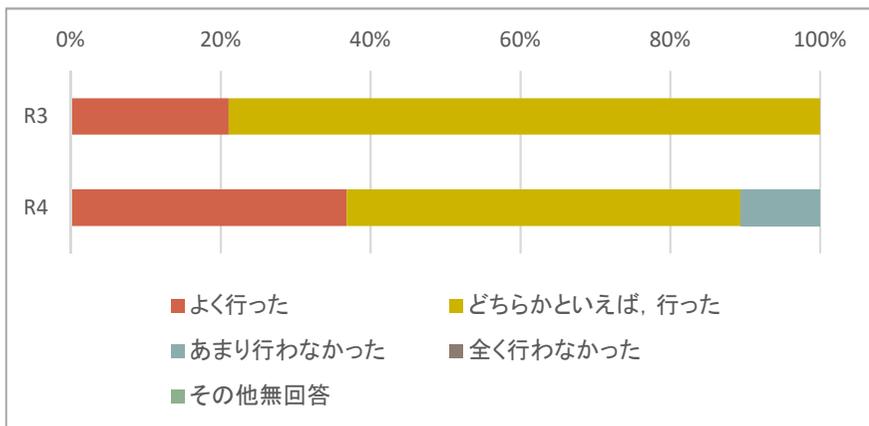
生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



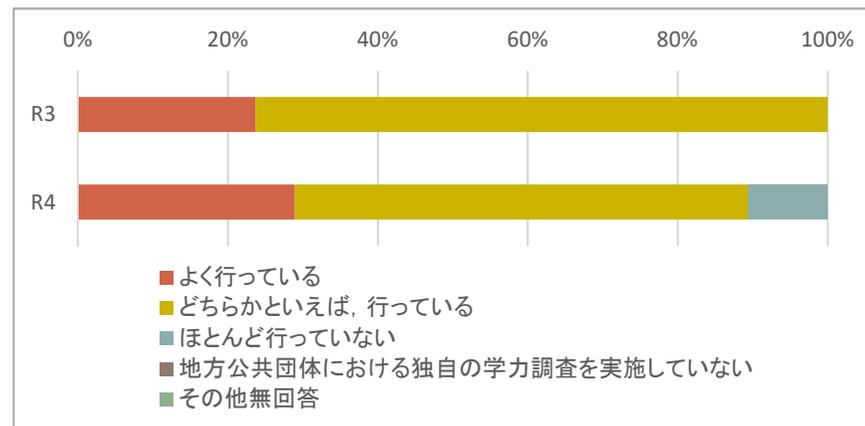
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか



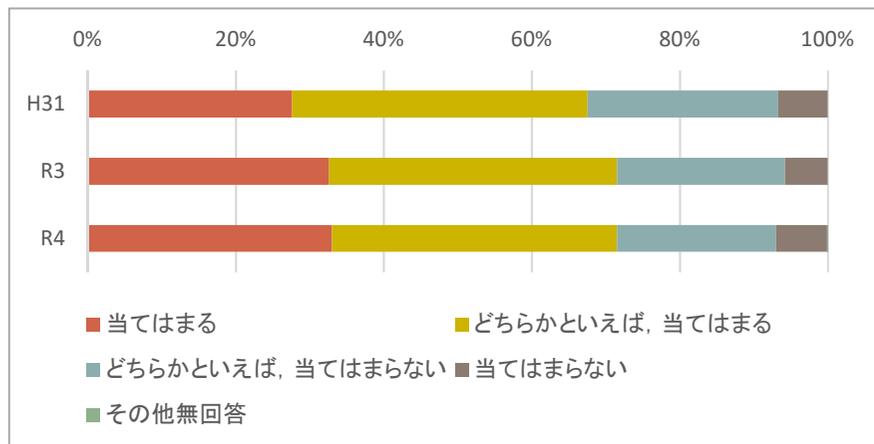
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



・「よく.....」が増えている項目もあり、取り組み状況に学校による二極化が起こっている。

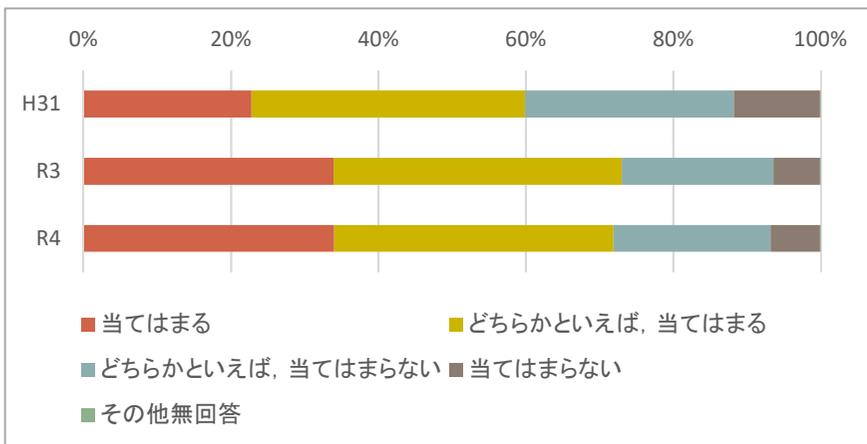
児童・生徒質問紙
(3か年同一質問結果推移)

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

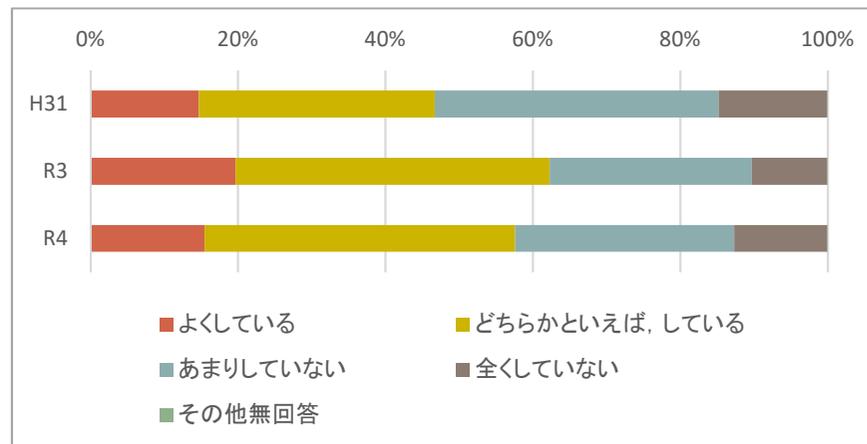


・同一質問でプラスになった項目が少ない。

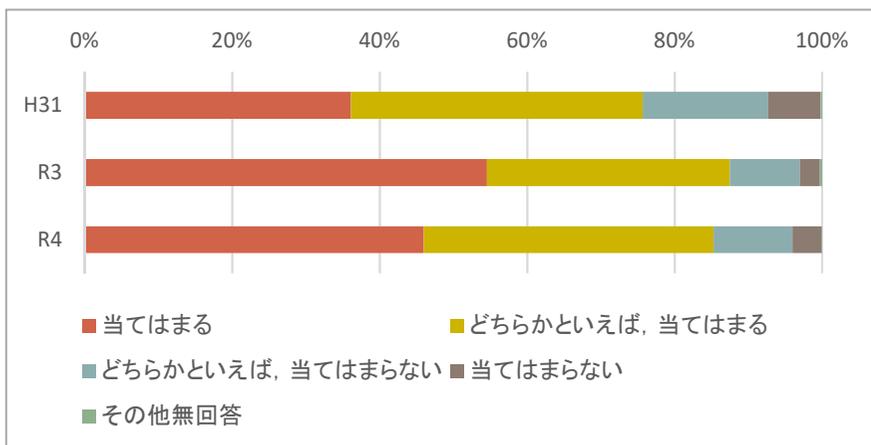
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



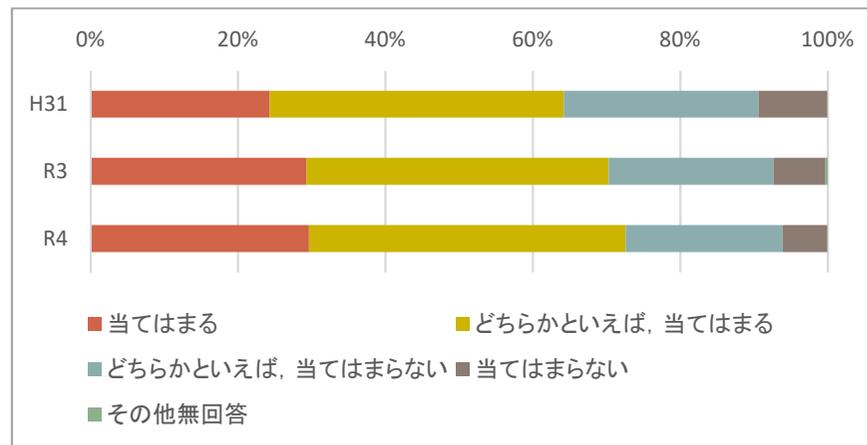
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

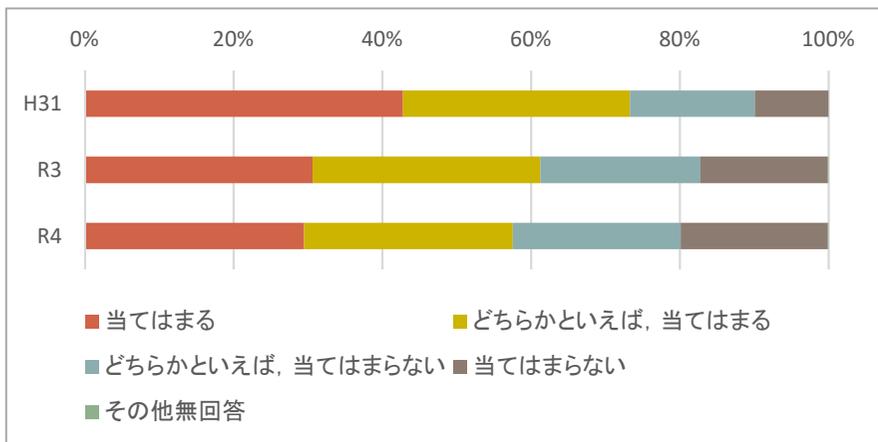


学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

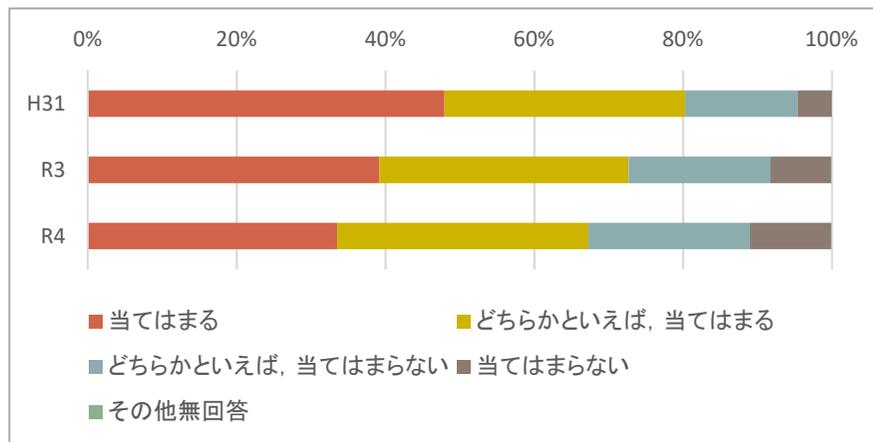


・新学習指導要領全面実施(R3年度)をはさみ、課題解決型の学習へ

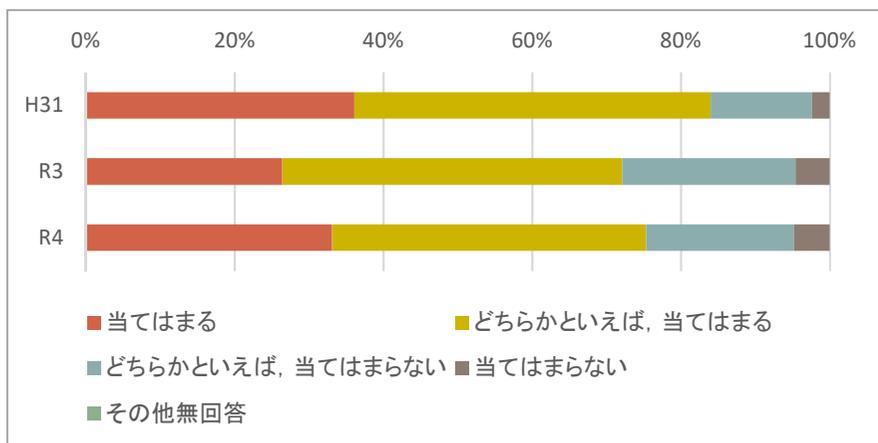
今住んでいる地域の行事に参加していますか



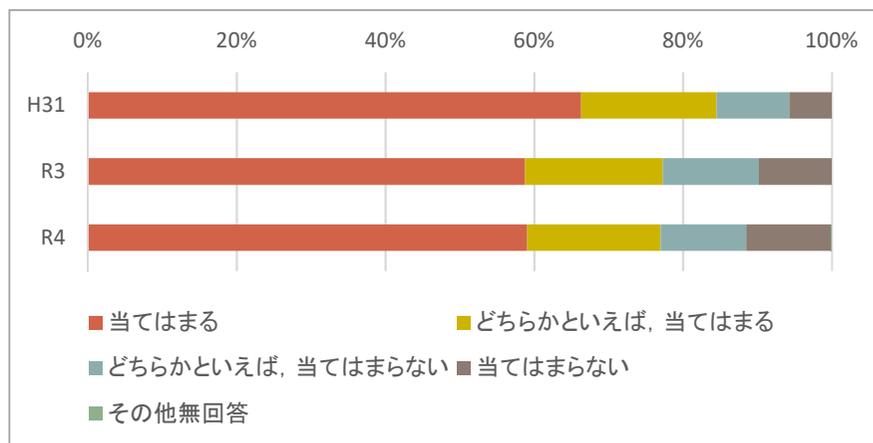
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



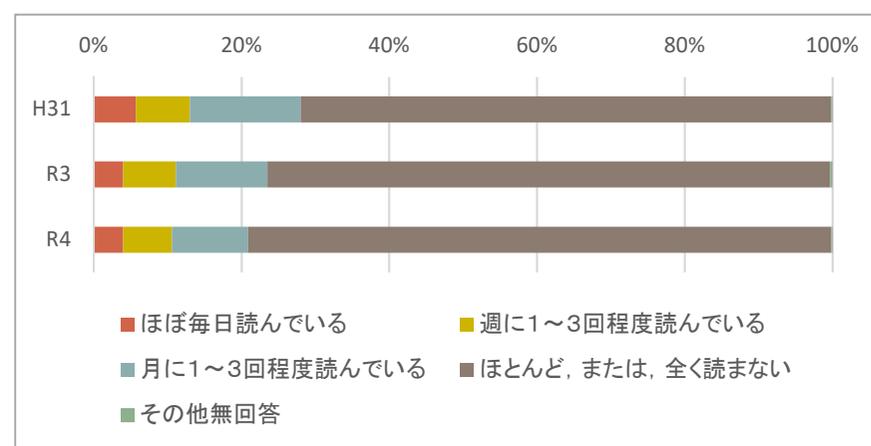
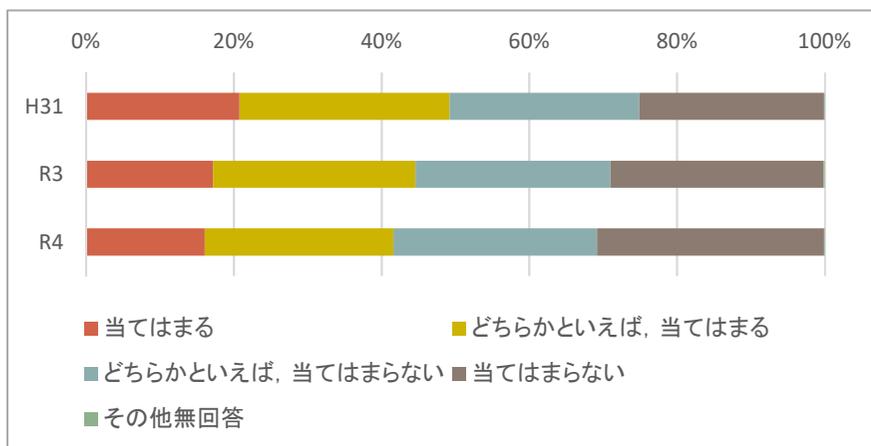
将来の夢や目標を持っていますか



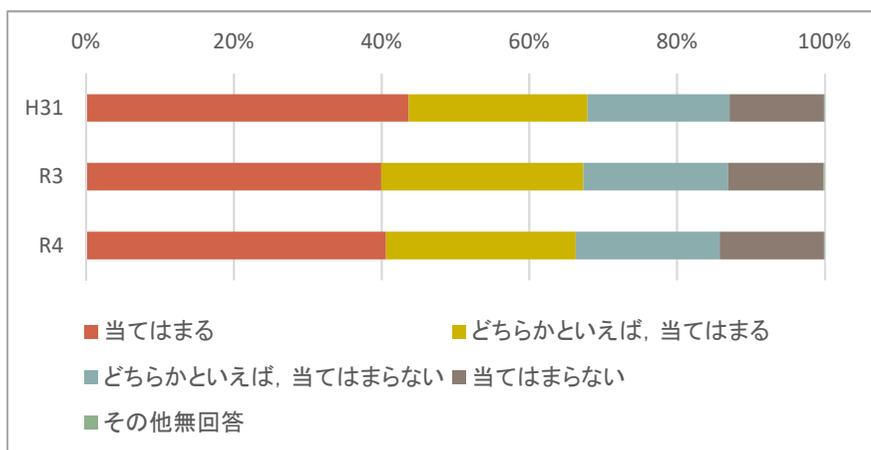
・地域行事を含む経験の減少の影響が残っている。経験不足が夢を描きにくい状況へ。

今住んでいる地域の行事に参加していますか

新聞を読んでいますか



将来の夢や目標を持っていますか

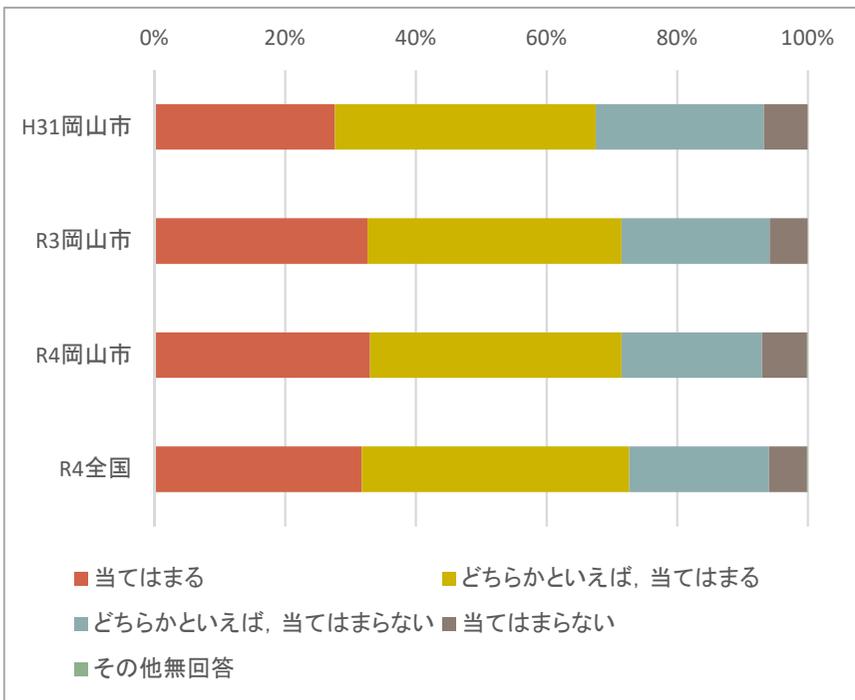


・「夢や目標」は戻りつつあるが戻り切れていない。

児童・生徒質問紙 【4つの指標】

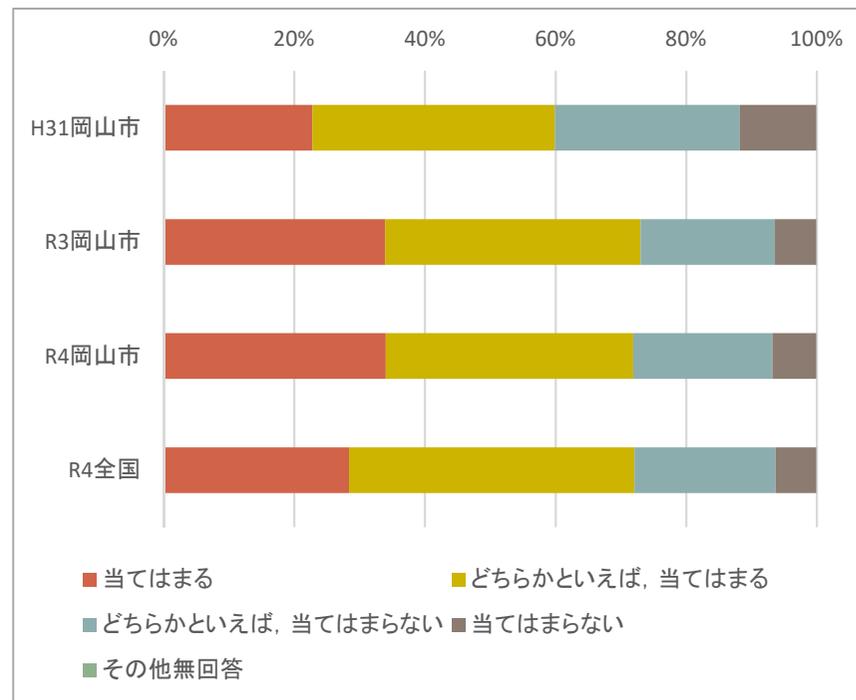
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

小学校



	指標	当てはまる	どちらかとい えば、当ては まる	どちらかとい えば、当ては まらない	当てはま らない	その他 無回答
H31岡山市	67.5	27.6	39.9	25.7	6.7	0.0
R3岡山市	71.5	32.6	38.9	22.7	5.8	0.0
R4岡山市	71.5	33.0	38.5	21.5	6.9	0.1
R4全国	72.7	31.7	41.0	21.4	5.8	0.1

中学校

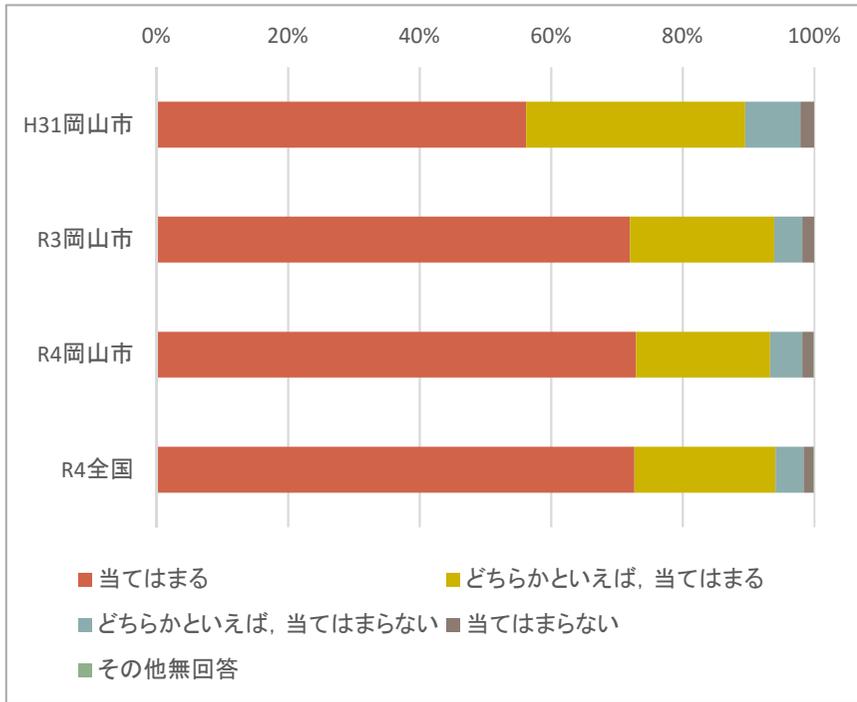


	指標	当てはまる	どちらかとい えば、当ては まる	どちらかとい えば、当ては まらない	当てはま らない	その他 無回答
H31岡山市	59.9	22.8	37.1	28.3	11.7	0.1
R3岡山市	73.0	33.9	39.1	20.6	6.3	0.1
R4岡山市	71.9	34.0	37.9	21.3	6.7	0.1
R4全国	72.1	28.4	43.7	21.6	6.2	0.1

友達と協力するのは楽しいと思えますか

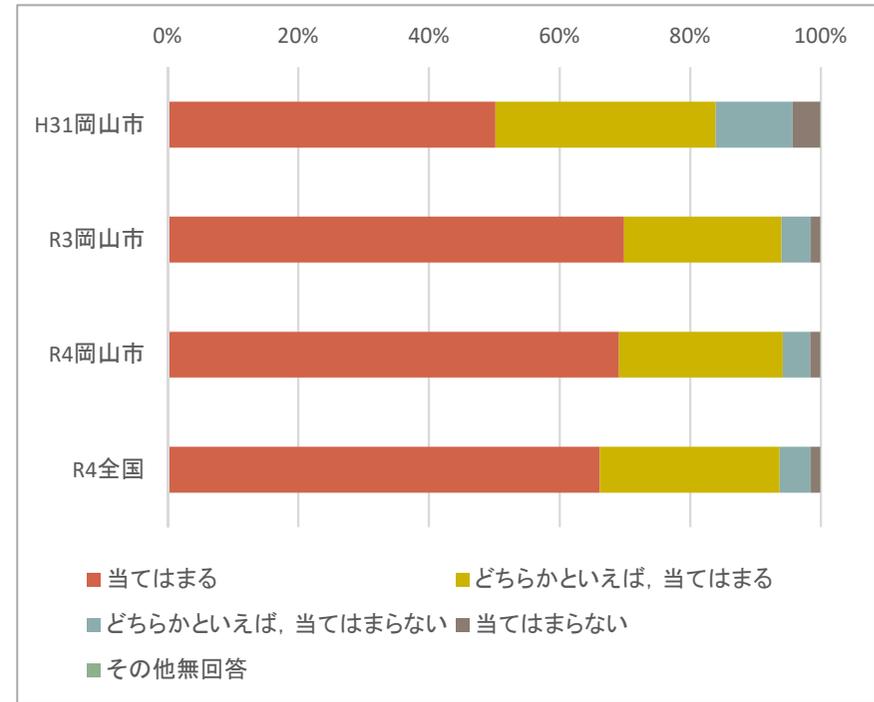
(H31は「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」)

小学校



	指標	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答
H31岡山市	89.5	56.2	33.3	8.4	2.1	0.0
R3岡山市	93.8	71.9	21.9	4.3	1.8	0.0
R4岡山市	93.3	72.9	20.4	4.9	1.7	0.1
R4全国	94.0	72.6	21.4	4.3	1.5	0.1

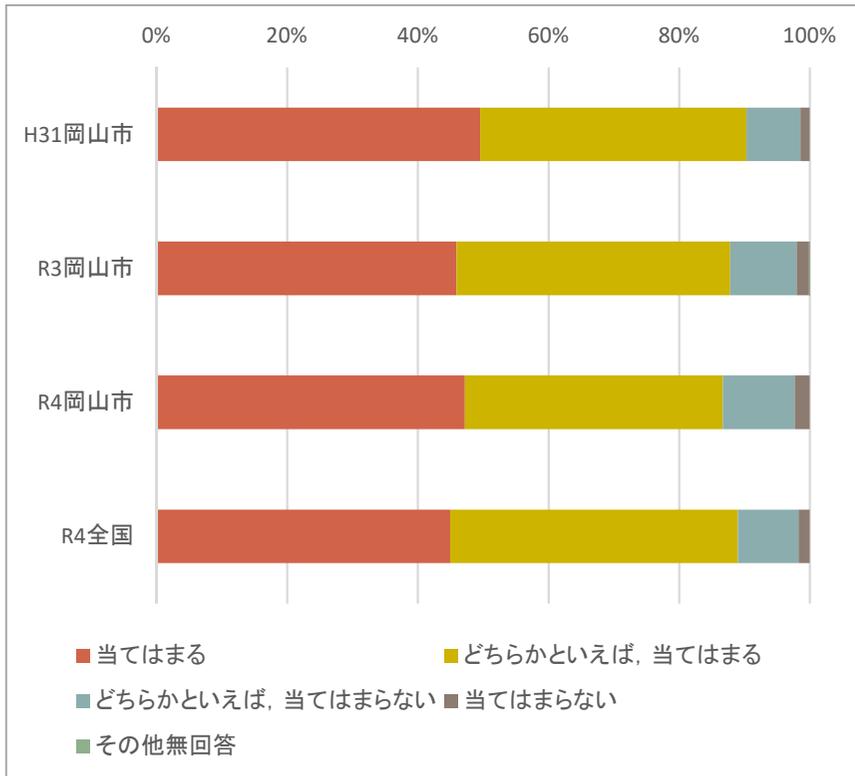
中学校



	指標	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答
H31岡山市	83.9	50.2	33.7	11.8	4.2	0.1
R3岡山市	94.0	69.9	24.1	4.5	1.4	0.1
R4岡山市	94.2	69.1	25.1	4.2	1.5	0.1
R4全国	93.7	66.2	27.5	4.8	1.4	0.1

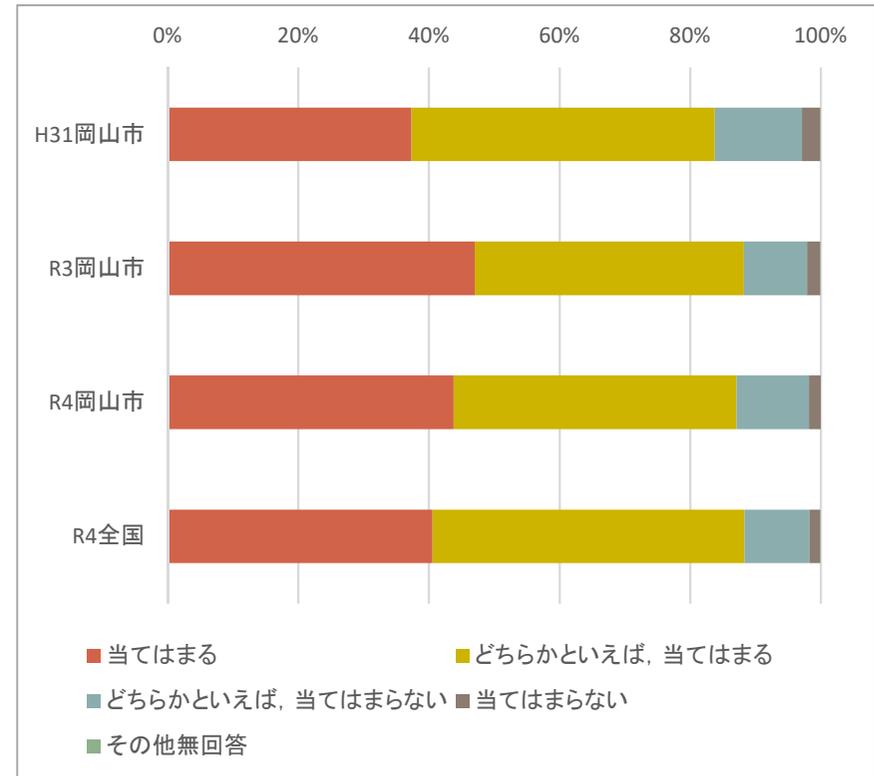
人が困っているときは、進んで助けていますか

小学校



指標	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答	
H31岡山市	90.4	49.6	40.8	8.3	1.4	0.0
R3岡山市	87.9	46	41.9	10.2	1.9	0.1
R4岡山市	86.7	47.2	39.5	11	2.3	0.0
R4全国	88.9	44.9	44	9.3	1.7	0

中学校



指標	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	その他無回答	
H31岡山市	83.7	37.3	46.4	13.3	2.8	0.1
R3岡山市	88.2	47	41.2	9.7	2	0.1
R4岡山市	87.1	43.8	43.3	11.1	1.8	0
R4全国	88.4	40.6	47.8	10	1.6	0.1

正答数と児童・生徒質問紙の相関

質問番号	区分	質問	国語		算数		理科	
			順位	相関係数	順位	相関係数	順位	相関係数
005	家庭	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	1	0.304	1	0.313	1	0.306
006	家庭	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）			8	0.246		
024	家庭	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）	4	0.265	4	0.276	4	0.271
026		読書は好きですか	2	-0.277			2	-0.286
031_01	家庭	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（家で勉強や読書をしている）	3	0.277	5	0.276	3	0.275
038	学校	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	8	-0.251	7	-0.253	8	-0.247
039	学校	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	7	-0.259	6	-0.265	9	-0.244
040	学校	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	9	-0.233				
044		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか			10	-0.242		
045	学校	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	6	-0.261	9	-0.243	10	-0.243
058		算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか			2	-0.309	7	-0.255
060	学校	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	5	-0.263	3	-0.283	5	-0.264
068	学校	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	10	-0.232			6	-0.255

家庭での過ごし方に関わる項目が多い。

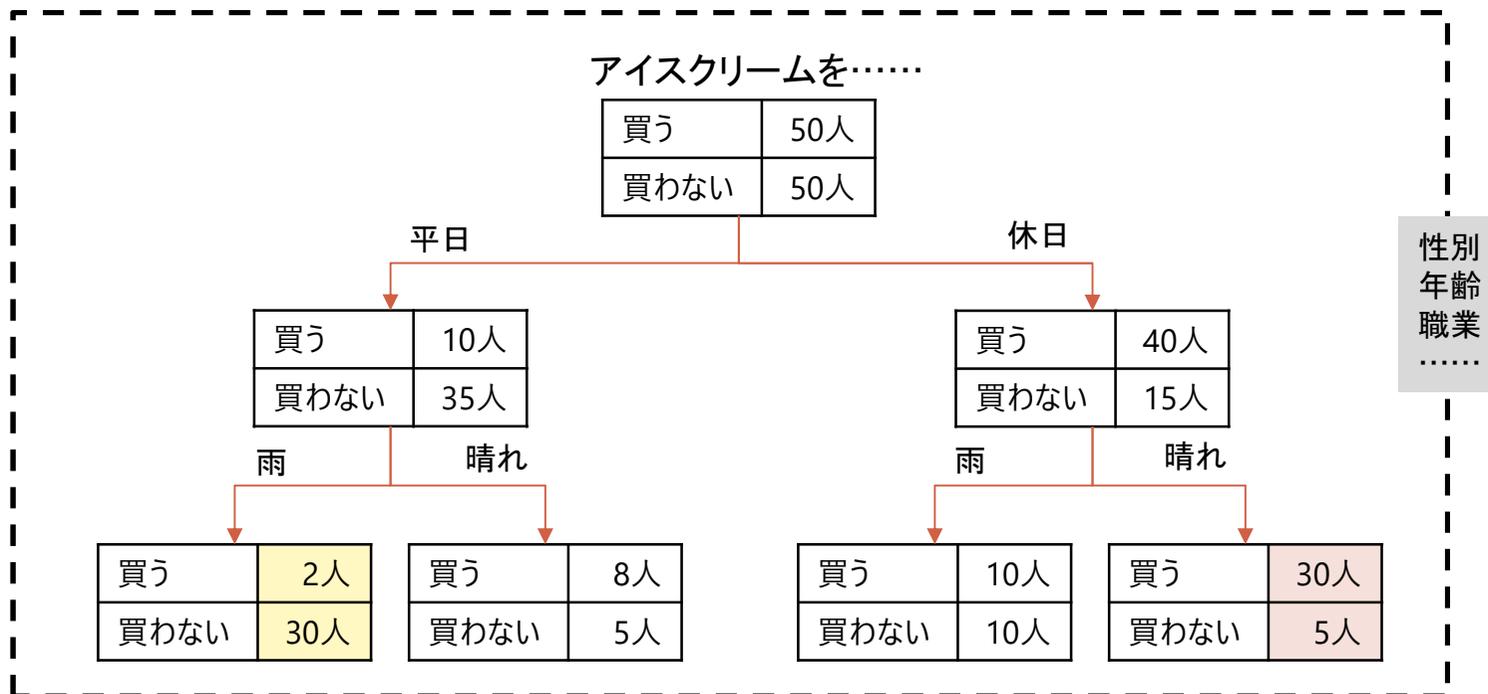
学校関連の項目は新学習指導要領で重視されている課題解決型の学習が多い。

質問番号	区分	質問	国語		数学		理科	
			順位	相関係数	順位	相関係数	順位	相関係数
005	家庭	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	2	0.306	9	0.288	5	0.265
026		読書は好きですか	7	-0.263				
031_02	家庭	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（家で勉強や読書をしている）	9	0.243				
038	学校	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	10	-0.241	7	-0.293	6	-0.264
039	学校	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	1	-0.319	2	-0.363	3	-0.311
040	学校	1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	8	-0.262	8	-0.289	7	-0.263
044		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	6	-0.268	3	-0.321	8	-0.261
045	学校	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	4	-0.276			10	-0.248
058		数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	5	-0.276	1	-0.431	1	-0.325
059	学校	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか			4	-0.317		
060	学校	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか			6	-0.303	9	-0.249
068	学校	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	3	-0.280	5	-0.310	2	-0.317
069	学校	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか			10	-0.283	4	-0.277

小学校に比べ、家庭での過ごし方に関わる項目が少ない。
 学校関連の項目は新学習指導要領で重視されている課題解決型の学習が多い。

「無回答」の要因

目的変数に対して、どの説明変数を使うと最も効果的に分類できるかを、機械学習で探索する方法。

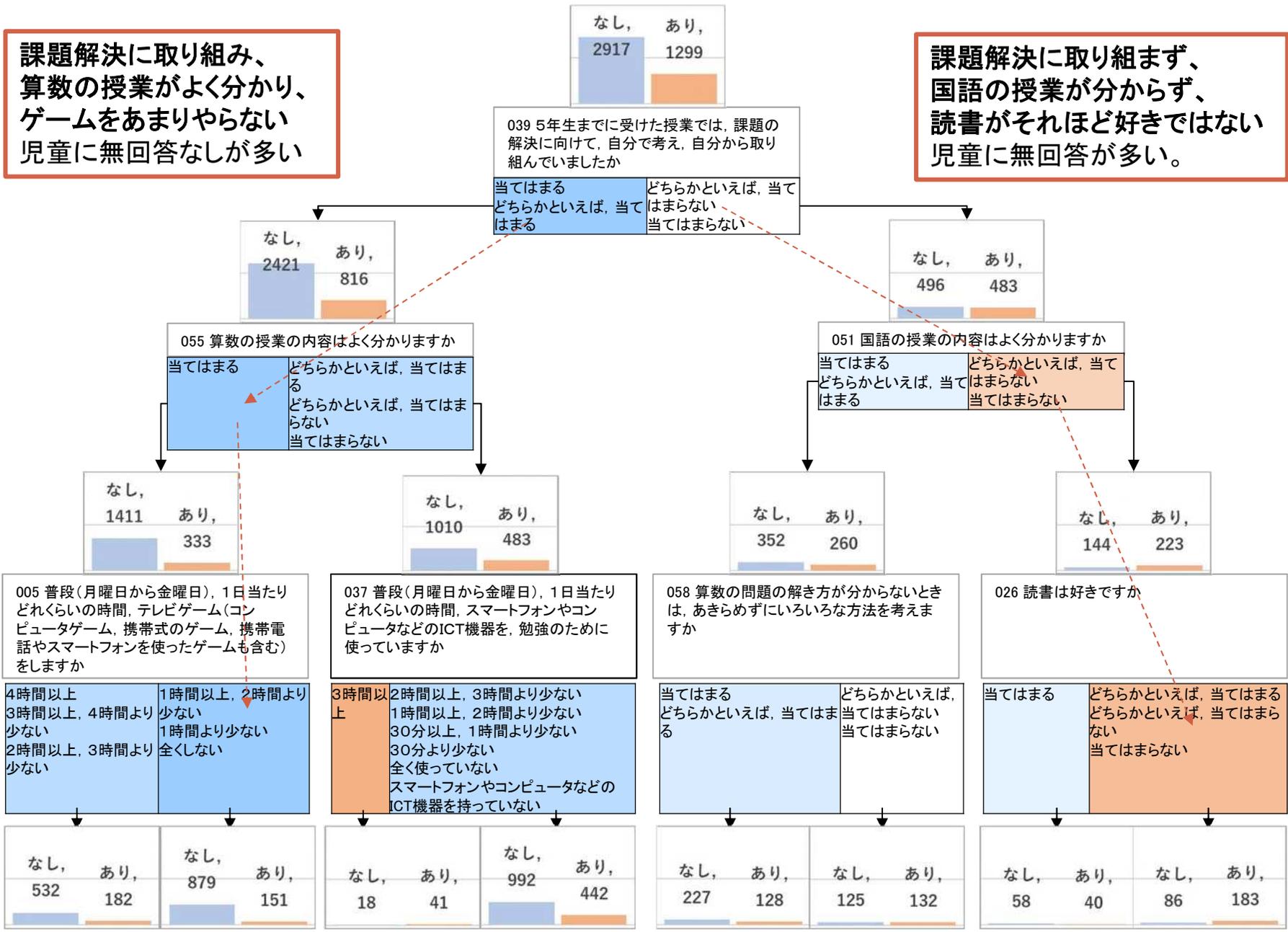


目的変数 無回答が0であるか、1以上であるか

説明変数 すべての児童・生徒質問紙の回答

課題解決に取り組み、算数の授業がよく分かり、ゲームをあまりやらない児童に無回答なしが多い

課題解決に取り組みず、国語の授業が分からず、読書がそれほど好きではない児童に無回答が多い。



数学の問題をあきらめず、
ゲームをあまりやらず、
将来技術職に就きたい
生徒に無回答なしが多い。

数学の問題をあきらめ、
学習の自己調整ができず、
発表の工夫をしていない
生徒に無回答が多い。

